

◎難波達哉(あつぎみらい)  
○遠藤浩一(公明党)  
石井芳隆(新政あつぎ)  
沼田幸一(あつぎみらい)  
名切文梨(民進党)  
松本樹影(あつぎみらい)  
新井啓司(新政あつぎ)

議案第41号 平成28年度一般会計  
補正予算(第1号)

農業政策課  
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金

石井議員 補助金はいつからか。どこにどのように支援するか。

農業政策課長 平成26年からあったが、厚木は今回初めての申請。市内養豚振興、業者の支援、流通を進める。

畜産農家・獣医・JAなど11名で構成する厚木畜産クラスター協議会へ補助する。市内の養豚業者は5軒で今回の補助はそのうちの1軒。新たな子豚舎1棟の建設に2分1の補助。現在は成長に従って離乳舎↓子豚舎↓豚舎と2回の移動だが、子豚舎から豚舎へと移動を1回に減らすことで、疾病や事故率が減少する。

将来的には豚の糞を大豆農家の肥料に、その大豆のかすを豚のえさにするサイクルをつくりたい。

他から希望があれば、国のメニューが存続していたら申請したい。

学校教育課

特別支援教育推進事業費増

(1) 教育支援体制整備事業費

(2) インクルーシブ教育推進地域研究事業費

小中一貫教育推進事業費増

沼田議員 特別支援教育推進事業の内

容は。障害者と健常者を一緒というのは既にやっている。新たに付け加えるのは不可解。違いが良く見えな。LDなどの子の判断、見極めは難しい。

学校教育課長 県のインクルーシブ教育の交付金を基に行う。2校のモデル校に合理的配慮協力員を派遣する。全ての子が同じ場で学ぶ。通常級に在籍または所属して、必要な時に必要な場に取り出し、見とりを行う。必要な支援をする。

新井議員 合理的配慮協力員は資質を持つ方を選定するが、見直しは。課長 大学等で研究をしている方、現在いるんな場で助言している方を想定している。

新井議員 平成29年の高校改革でのパイオニア校に西高。保護者や先生への説明等は。

課長 インクルーシブ推進校のパイロット校は県内で3校。市内全13中学校が西高との連携型中学校となる。県が4月から教職員に説明し、各校でも周知している。

名切議員 2校とはどこか。経緯は。小中全36校にどう生かしていくのか。課長 玉川中と毛利台小。ユニバーサルデザインと校内支援の観点で選んだ。既にリソースルームと似た仕組みができていく学校である。

全13中学校が高校と連携する。モデル校は授業を公開する。先生の研修の中で広めていく。

インクルーシブ教育は国際条約で批准された。全ての学校で取り組むべき内容。

新井議員 現場では多忙化が言われる。指導・説明するための時間はどうか。

国平均で18円上がり798円になった。神奈川県は、東京の907円に次いで全国で2番目に高い905円である。

平成26年にアメリカの各州で最低賃金を15ドルにすることになったと聞く。円に換算すると1850円への取り組みがあった。県から国への違反等の報告については公表していない。

全議員が「賛成」との発言。

賛成全員で意見書を国に提出。

神奈川県最低賃金で年収を計算すると、

905円×8時間×22日×12か月

＝1,911,360円

これから各種税金、年金・医療・介護保険料を納めて、家賃と水道光熱費を払って、ご飯を食べて、たまには医者にかかってとなると、一体、いくら残るでしょう。生活できる最低賃金を！

◎神子雅人(あつぎみらい)  
○栗山香代子(日本共産党)  
川口 仁(公明党)  
越智一久(あつぎみらい)  
井上敏夫(新政あつぎ)  
新川 勉(新政あつぎ)  
望月真実(民進党)

えているか。課長 月に1回程度来校。午前中ずっと子どもの様子をみているので、先生方に特に負担はかからない。要請があれば全先生への指導も考えられる。

新井議員 教育研究所の「先生のための寺子屋講座」の取り組みが素晴らしい。寺子屋でインクルーシブ教育に関わるものをやってほしい。

新井議員 小中一貫教育推進事業の目的は学力向上とある。9年間の特別指導の統一性での中一ギャップの解消についてはどうか。

課長 ギャップの解消を図っていく。厚木は小中が連携し行事等やってきて、成果が上がっている。中学での不登校・不応の割合は全国より低い。

石井議員 中学生が英語にナーバスになっている。小学校で英語をやっているからといってスムーズにできるのか。

課長 英語は今、大きな転換期。小学5・6年でやっているが、新指導要領では小3においてくる。スムーズに中学校への流れをどうつくるか、実態を把握しながらやっていかなくてはならない。厚木の子どもたちが英語を好きになれる取り組みをしていきたい。

文化財保護課

文化財事業費増

(1) 文化財事業費増

(2) 郷土芸能コミュニティ事業補助金

石井議員 文化財事業費110万円は。文化財保護課長 市内を散策しながら文化財にふれあう機会にとマップ案内を作成する。現在もあるが、新しい道ができた、新たな指定があるなどで新たに印刷するもの。

松本議員 部数と配置は。

課長 1万部。最初は平成15年につくり無償配布し、その後19年、22年と増刷した。文化財保護課、郷土資料館、本庁舎1階の情報コーナー、アミューあつぎのあつぎまる等に置いてある。希望があれば公民館へも届けている。できるだけ目に触れるよう努力している。

名切議員 郷土芸能コミュニティ事業補助金、評価はどうだったのか。

課長 前年度7・10月に公募した。文化財団体20団体に手紙を出し、申請が出たものが通った。

採決では、全員が賛成でした。